

高槻市山手町～長岡京市神足

●歩行距離／9.5km ●標準歩行時間／2時間23分 ※1時間4kmで計算しています



高槻市から島本町を通って大山崎町、長岡京市へ。大山崎町には、離宮八幡宮や妙喜庵などがあり、歴史散策にはぴったり。紀貫之、豊臣秀吉、明智光秀、千利休をはじめとした多くの歴史上の人物が行き交った地です。長岡京市は古代の都であった長岡京跡をはじめ、乙訓寺や勝龍寺城跡などがあります。



水無瀬神宮 みなせじんぐう



かつて後鳥羽天皇の離宮があったとされた地に立つ神宮。重要文化財に指定されている客殿は、豊臣秀吉が家臣・福島正則につくらせ寄進したとされています。また、境内には大阪府で唯一環境庁認定の「名水百選」に選ばれた「離宮の水」がわく井戸があります。

離宮八幡宮 りきゆうはちまんぐう



貞観2年(860)に、僧行教が宇佐八幡神を嵯峨天皇の離宮に祀ったのが始まりといわれる神社。また、平安時代にこの地で始まった荏胡麻油づくりは、鎌倉・室町時代になってさらに発展し、油座の本所となって全国の油の製造販売権を独占しました。

妙喜庵 みょうきあん



室町時代後期に僧春嶽が開山。国宝の茶室「待庵」は、千利休がつくった茶室のなかで唯一現存するものです。にじり口が設けられた最初の茶室でもあり、その極小の空間は、以降、茶室をつくるうえでの原点となったといわれています。

(拝観は往復ハガキで1ヶ月前に予約)

勝竜寺城公園 しょうりゅうじじょうこうえん



暦応2年(1339)に細川頼春が築いたといわれる城。明智光秀の娘・玉(後のガラシャ)が嫁いだ城でもあり、山崎の合戦で、光秀が本陣を構えた地としても知られています。平成4年(1992)に土堀、石垣、城門、櫓などを再現した歴史公園として整備され、市民の憩いの場となっています。